

# 要 望 書

立憲民主党代表  
枝野幸男 様

2017年12月25日  
東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1  
ピースポート事務局気付  
TEL:03-3363-7561 FAX:03-3363-7562

## 「辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す」という選挙公約の実現を

衆議院選挙後、立憲民主党の代表、枝野幸男氏は以下のように述べました。「我々が永田町の内側を向いて、永田町の権力ゲームに右往左往するのではなく、あくまでも国民の側を向いて、国民のみなさんとともに歩む」。貴党を支持する市民は、枝野代表のこの言葉を党の基本的なスタンスとして貫いて欲しいと考えていると思います。

しかし今、立憲民主党が党の拡大をはかるため、政策の一致をみないまま野合することを私たちは懸念しています。参議院民進党サイドから、立憲民主党、希望の党との連携が働きかけられていると報道されています。また、元民進党の議員で「無所属の会」を立ち上げた岡田克也氏は記者会見にて、「立憲民主党と希望の党と協力していくことが重要だ。『無所属の会』として両党の結節点になる役割をしっかりと果たしていきたい」と述べています。

私たちは「辺野古移設について再検証をし、沖縄県民の理解を得られる道をゼロベースで見直す」ことを選挙公約に掲げた貴党の行動に期待をしています。希望の党はもとより、民進党は残念ながら沖縄辺野古基地建設に対してはその立場を明確には示していません。政策がまったく異なる政党の議員が合流することで、「辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す」という公約に掲げた貴党の立場が後退することを私たちは恐れています。今後、貴党が党の拡大をはかりながらも、永田町の権力ゲームに右往左往せず、「辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す」という選挙公約を果たすことを強く要望するものです。

### ■呼びかけ人

中村利也（辺野古への基地建設を許さない実行委員会）  
川名真理（沖縄への偏見をあおる放送をゆるさない市民有志）  
野平晋作（ピースポート）  
福田唯一（辺野古リレー ～辺野古のたたかいを全国へ～）  
藤田五郎（差別・排外主義に反対する連絡会）  
加藤宣子（Stop!辺野古埋め立てキャンペーン）  
浦野薫（ゆんたく高江）  
芦澤礼子（沖縄平和ネットワーク首都圏の会有志）  
宮平真弥（流通経済大学法学部教授）  
花輪伸一（沖縄環境ネットワーク）  
大仲尊（沖縄一坪地主）（順不同）